

独立行政法人 水資源機構 分任契約職
木曾川上流ダム総合管理所長 中野 春男
(公印省略)

見 積 依 頼 書

- 1 件 名 令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務
- 2 履 行 場 所 受注者が準備するデータセンター
- 3 履 行 期 間 契約締結日の翌日から令和8年12月21日まで
- 4 内 容 等 別添、仕様書等のとおり

上記について、下記により見積合わせを行いますので入札心得書等を熟覧のうえ提出して下さい。

記

- 1 現 場 説 明 実施しません。
- 2 見 積 参 加 要 件 ①別添、仕様書のとおり施行が可能である者。
②当機構における一般競争(指名競争)参加資格業者のうち、役務の提供の業種区分の「ソフトウェア、情報処理、提供サービス」の認定を受けており、かつ、営業品目の「ソフトウェア、プログラム等のシステム開発・保守等」に登録していること。
③気象業務法に基づく予報業務の「気象」と「洪水」の許可を得ていること。
- 3 見 積 書 等
 - 1)様 式 等 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名(法人の場合は、法人名及びその代表者名)を記載し、代表者の印章を押印されたものに限りません。ただし、押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。
 - 2)提出方法 FAXによる。(※FAX番号は、4)に記載された番号)
なお、FAXに抛りがたい場合は、持参又は郵送(一般書留、簡易書留、その他配達記録が残る方法に限る。)による。
 - 3)提出期限 令和8年5月14日 12:00 まで
 - 4)提 出 先 独立行政法人 水資源機構 木曾川上流ダム総合管理所
TEL 0573-25-5295 FAX 0573-25-9221
 - 5)担 当 者 契約担当 森
 - 6)質 問 書 令和8年5月7日 12:00 まで
提出期限 ※質問の回答については、翌日17:00までにHPに掲載します。
 - 7)見 積 回 数 2回を限度とする。
なお、当初の見積徴取において予定価格の制限に達した価格の見積書がない場合の再度の見積書の提出については、改めて連絡するものとし、再度の見積書提出の期限は令和8年5月15日12:00までとします。
 - 8)そ の 他 ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。
②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積り誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積りの無効を主張することはできません。
- 4 見 積 結 果 見積結果については、**契約の相手方として決定した者のみに、原則として提出期限の翌日(翌日が休日となる場合には休日でない直後の日)までに通知**します。
- 5 そ の 他
 - 1)契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とします。
 - 2)請負代金の支払いについては、履行確認後の一括支払となります。
 - 3)最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。
くじの方法は、別添「くじの方法」とおりとします。

令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務

仕 様 書

令和8年4月

独立行政法人 水資源機構

木曾川上流ダム総合管理所

第1章 総則

第1節 適用

この仕様書は、独立行政法人水資源機構木曽川上流ダム総合管理所（以下「機構」という。）が施行する「令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

第2節 概要

本業務は、味噌川ダムの特別防災操作の実施判断を支援することを目的として、アンサンブル降雨予測を用いた特別防災操作実施判断情報をWEBサイトの運用を通じて提供するものである。

第3節 履行場所

受注者が準備するデータセンター

第4節 履行期間

契約締結の翌日から令和8年12月21日まで

第5節 業務数量

業務数量は、別添「数量総括表」のとおりである。

第6節 打合せ等

受注者は、次に掲げる事項について担当職員と打合せを行い、その都度打合せ簿を作成し、担当職員へ提出するものとする。なお、打合せはWEB方式を想定している。

- (1) 業務計画書提出時
- (2) 業務完了報告時

第7節 業務計画書

1. 受注者は、契約締結後速やかに業務計画書を作成し、担当職員に提出しなければならない。
2. 業務計画書には、下記事項を記載するものとする。
 - (1) 業務概要
 - (2) 業務実施予定工程表
 - (3) 業務履行組織表
 - (4) 連絡体制（緊急時含む）
 - (5) その他業務実施上必要な事項
3. 受注者は、業務計画の重要な内容を変更する場合は、理由を明確にした上で、その都度担当職員に変更業務計画書を提出しなければならない。
4. 担当職員が特に指示した事項については、受注者はさらに詳細な業務計画に係る資料を提出しなければならない。

第8節 設計変更

仕様書で明記した事項が、担当職員の指示又は担当職員との協議によって変更になった場合は、原則として設計変更を行うものとする。

また、第2章の業務内容に変更が生じた場合は、担当職員より追加等に関する協議を行

うものとする。

第9節 関連法令及び条例の遵守

受注者は、業務の実施にあたっては、関連する関係諸法法令及び条例等を遵守しなければならない。

第10節 参考資料等の取扱い

設計図書配布時に提示する参考資料は、入札参加者の適正、迅速な見積り、受注者の設計変更業務等の容易化に供するための資料として示すものであり、契約上の拘束力を生じるものではない。

第11節 疑義等

受注者は、仕様書に定めのない事項又は仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに担当職員と協議するものとする。

第2章 業務内容

第1節 目的

本業務は、味噌川ダムの特例防災操作の実施判断を支援することを目的として、アンサンブル降雨予測を用いた特例防災操作実施判断情報を WEB サイトの運用を通じて提供するものである。

第2節 計画準備

受注者は、業務内容を十分理解し、円滑な業務の遂行ができるよう業務計画書及び WEB サイトの取り扱い説明書を作成し、担当職員に提出するものとする。

第3節 情報提供

3-1 情報提供内容

ヨーロッパ中期予報モデルを活用した長時間アンサンブル降雨予測情報、気象庁全球アンサンブル予測システム (GEPS)、メソアンサンブル予測システム (MEPS) の3種類のアンサンブル予測降雨から、それぞれ味噌川ダムへの総流入量、味噌川ダム最高貯水位等を計算し、対象期間3日以内の特例防災操作の実施可能性を判定する一覧表の情報を提供するものとする。(特例防災操作の実施判断の方法や情報提供項目等は、別紙1を参照)

加えて、根拠となる各アンサンブル予測降雨の状況が経時的に把握できるグラフ、「降雨短時間予測+MSM 予測・GSM 予測 (72 時間予測)」を経時的に把握できるグラフも提供するものとする。

なお、提供情報は、期間を遡って確認できるものとする。

3-2 情報提供期間

情報提供期間は、令和8年6月1日から令和8年11月30日までとする。

3-3 情報提供方法、範囲

受注者が準備する WEB サイトに各利用者がアクセスして情報を入手する方法とする。

利用者は、水資源機構と河川管理者 (国土交通省中部地方整備局、長野県) を想定しており、一般に広く公表する予定はない。

3-4 情報入手方法

情報提供にあたり必要となる長時間アンサンブル降雨予測などの予測降雨データ、味噌川ダムの実況データは受注者において入手するものとする。

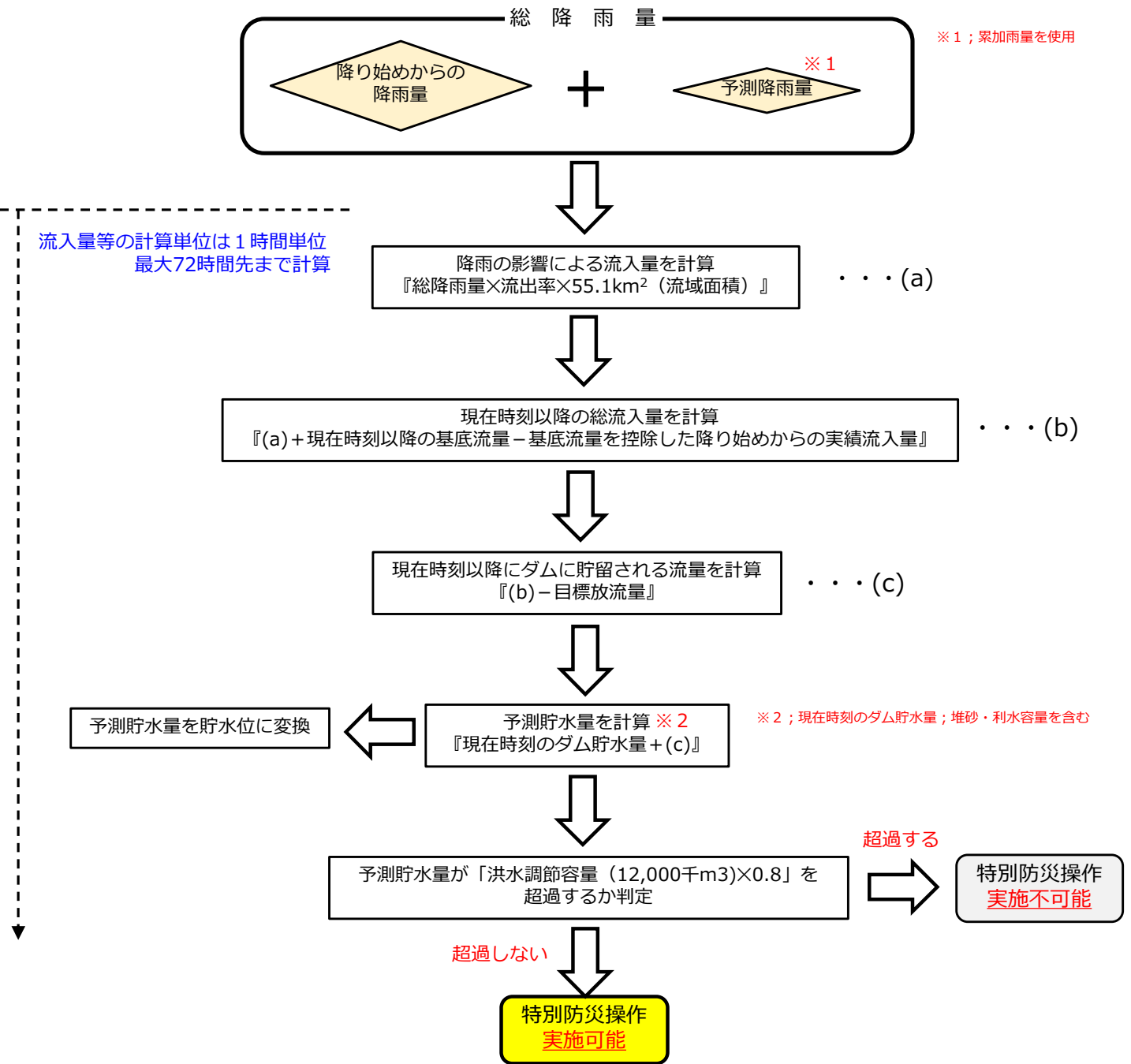
3-5 電子データ提供

受注者は、リアルタイム配信したデータを DVD 等にとりまとめ業務終了後に提出するものとする。

以上

味噌川ダム特別防災操作を支援するための情報提供

■特別防災操作の実施判断の流れ



味噌川ダム特別防災操作を支援するための情報提供

■活用する予測降雨

活用するアンサンブル予測降雨一覧表

項目	長時間アンサンブル 降雨予測 (ENS) (SIP/BRIDGEで開発)	気象庁GEPS (週間アンサンブル)	気象庁MEPS (メソアンサンブル)
格子解像度	日本域 約5km ※1	全球 1.25° 日本域 0.375°(約40km)	日本域 約5km
予報時間	15日先	11日先	39時間先
出力時間間隔	1時間 ※1	3時間	3時間
更新間隔	2回/日	2回/日	4回/日
総メンバー数	51メンバー	51メンバー	21メンバー
使用する降雨量	累加雨量上位の平均値； 1位～5位	累加雨量上位の平均値； 1位～5位	累加雨量上位の平均値； 1位～2位

※上位メンバーの選定は、1時間毎の累加雨量を対象に実施

※1；欧州中期予測センター提供データをダウンスケーリング

■提供情報項目(情報更新は1時間毎、過去の情報も遡れること)

※流出率・目標放流量以外の数値はイメージ

味噌川ダム実況値	時刻	貯水位 (EL.m)	貯水量 (千m ³)	空き容量 (千m ³)	流入量 (m ³ /s)	放流量 (m ³ /s)
	24日16時	1112.62	32,230	28,770	12.32	11.85

流出率 (流出高/雨量) ※ 計算条件を選択

70%

100%

特別防災操作の目標放流量 ※ 計算条件を選択

0m³/s

7m³/s

10m³/s

20m³/s

30m³/s

40m³/s

50m³/s

予測降雨	特別防災操作 実施の判断	1日先まで		2日先まで		3日先まで	
		累加雨量	最高貯水位	累加雨量	最高貯水位	累加雨量	最高貯水位
		総流入量	洪水調節容量 使用率	総流入量	洪水調節容量 使用率	総流入量	洪水調節容量 使用率
GEPS 上位平均	○	11.5mm 698千m ³	1,111.77m -12%	74.7mm 3,391千m ³	1,112.59m -4%	151.5mm 6,608千m ³	1,113.84m 8%
MEPS 上位平均	○	52.0mm 2,261千m ³	1,113.09m 1%	87.6mm 3,888千m ³	1,113.01m 0%	- -	- -
ENS 上位平均	×	41.5mm 1,856千m ³	1,112.75m -2%	143.9mm 6,060千m ³	1,114.83m 18%	253.4mm 10,538千m ³	1,117.06m 53%

※MEPS上位 (2日先)；予測降雨が無い期間は、0mm/hとして計算

※累加雨量及び総流入量は、1日先時点、2日先時点、3日先時点の情報を表示

※最高貯水位及び洪水調節容量使用率は、期間内の最大値を表示 (例；2日先の場合は、25h先～48h先の最大値を表示)

※実施判断；それぞれの予測降雨毎に実施、1時間単位で計算した全データ判断基準を超過しない場合のみ「実施可能」

数量総括表

業務名 令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務

木曽川上流ダム総合管理所

数量総括表

業務名	令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務				業種項目	設計業務 共通
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
共通		式		1		
共通		式		1		
直接人件費		式		1		
計画準備		式		1		
打合せ		式		1		
直接経費		式		1		
直接経費		式		1		
情報提供		式		1		
情報提供		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		

数量総括表

業務名	令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務				業種項目	設計業務 一般管理費等
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

参考資料

見積参考資料

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料である。従って、「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、設計条件等を充分考慮して、業務の目的を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この業務の見積合わせの日までとする。また、「見積参考資料」は見積に資するための資料であるため、原則、質問は受け付けないものとする。

業務名	令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務
-----	--------------------------

1. 直接人件費

項目・名称	単位	直接人件費					備考
		主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備	1式あたり	—	1.0人	1.0人	1.0人	—	—
打合せ	1式あたり	—	0.5人	—	—	—	(2回) 【web方式、2時間程度/回】

【注意事項】

- 1) 国土交通省公表「令和8年度設計業務委託等技術者単価」を適用する。
- 2) 一般管理費等の諸経費は含まない。

2. 直接経費

項目・名称	単位	単価（円）
情報提供	—	—
Web情報閲覧サービス	月	65,000
実況値取得管理と特別防災操作支援情報提供	月	13,000

【注意事項】

- 1) 一般管理費等の諸経費は含まない。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

木曾川上流ダム総合管理所長 中野 春男 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

見積依頼書等の交付受領書

令和8年4月27日に交付された「令和8年度味噌川ダム特別防災操作支援情報提供業務」の見積依頼書等を受領しました。

〈連絡先〉

担当部署名：

担 当 者：

電 話 番 号：

F A X 番 号：

◆くじ用数値

--	--	--

「くじ用数値」を記載いただくのは、最低価格者が複数となった場合に契約の相手方を決定するためです。詳細は、「くじの方法」をご覧ください。

くじの方法

今回の見積徴取に際して、最低金額を提出した見積者(以下「同価格者」という。)が複数あった場合、以下の方法により、契約の相手方を決定します。

1. くじの方法について

同価格者の「くじ用数値」の合計を同価格者数で除算し、余りの数値と「くじ用順位」が一致する者を、契約の相手方とします。

2. くじ用数値について

1)「くじ用数値」とは、見積書を提出される方が、任意に決定していただく「0:ゼロ」から「999」の3桁の整数とします。なお、数値の記載等がない場合は「0:ゼロ」として取り扱わせていただきます。

2)「くじ用数値」の機構へ対しての通知方法は、機構から送信(FAX)した見積依頼書の受信確認を機構に対して返信(FAX)する際に記載してください。この場合、機構から特に受信確認に用いる様式の指定がない場合は、通信欄などに下記のように記載してください。

記載例)

くじ用数値		
1	2	3

※数字は、明確に記載してください。

3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、同価格者が機構に対して見積書を送信(FAX)していただいた順に、「0:ゼロ」から順に付番させていただく番号となります。

- 例) ・同価格者が2者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」
 ・同価格者が3者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」、「2」

4. 具体的な決定方法について

例) ・同価格者が2者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-		123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4

$123+4=127$
 $127 \div 2 \text{者} = 63 \text{ 余り } 1$
 ・余り「1」とくじ用順位「1」が合致する、△△組が契約の相手方となる。

例) ・同価格者が3者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-		123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4
◎◎工業	¥500,000-	2	1

$123+4+1=128$
 $128 \div 3 \text{者} = 42 \text{ 余り } 2$
 ・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する、◎◎工業が契約の相手方となる。